

事業所名 キッズウィル（放課後等デイサービス）

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念		自立）個々の可能性を最大限に引き出す 貢献）自立で社会参画へ 喜び）他者、社会へ貢献することで自身の喜び、成長へ 平和）喜びのあふれる平和な社会へ							
支援方針		共に学び、共に成長する） 個々のニーズに応じた支援を通じて、子どもたちの可能性を最大限に引き出します 子どもたちとその家族、そして地域社会と共に学び、成長することを目指します 安心・安全な居場所の提供） 子どもたちが安心して過ごせる安全な居場所を提供します 信頼できるスタッフと共に、心身の健やかな発達をサポートします 未来を創る力を育む） 子どもたちが自ら未来を切り拓く力を育むことを使命とします 創造力と自立心を育てるプログラムを通じて、子どもたちの成長を支援します							
営業時間		火～金 土	10 09時	00 30分から	18 18時	00 00分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人 支 援	健康・生活	鏡を見るなどの身なりを整える等の生活を営む上で必要となる基本的技能の習得に対して支援していく 利用時に、検温・学校での様子からの健康状態のチェックと必要な対応を実施 また、利用中に体調の変化がある場合には適切な対処（例：医療機関への受診、保護者への状況の報告など）を行う 持ち物の管理、整理整頓、スケジュールの確認の習得に向けて支援を行っていく							
	運動・感覚	基本的な学習に取り組みながら、鉛筆の持ち方や物差しを使い方など小さなところにも注意を向けた基本的な技術を習得できるよう支援していく 発達の段階で習得しておくべきボディイメージがとれるような支援を行う							
	認知・行動	認知機能の発達を促すために、ボードゲームなどを利用しながら支援プログラムの中に取り込んでいく 漢字の書き取りなど、空間の認知の偏りからくる学習障害には、偏りを是正するための支援を行う 空間認知、構成力、道具の操作性、ボードゲーム							
	言語 コミュニケーション	日々の活動は何の目的があるかを知りそのためには何が必要かを言語化できるように支援する 自分の置かれている状況の理解と意思の伝達ができるよう環境及びかわり方の調整を実施していく 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う 要求・応答の獲得、ルールの視覚化による理解のしやすさなどの調整を行う							
	人間関係 社会性	人との関係を意識し身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を実施していく 個々の発達段階に応じた感覚機能を使った遊びやゲームをすることで、環境を整え次段階の発達に進めるよう支援していく 役割分担やルールを守って関わることで社会性の発達を支援する							
家族支援		家族支援は、家族が安心して子育てを行うことができるよう、 ご利用後にその日の様子をお知らせしています 面談や、保護者会等の開催				移行支援		学校等、情報交換、共有・連携 就学・進路に関する情報提供	
地域支援・地域連携		教育機関の関係者等との連携 地域支援の体制の構築のための会議への出席 法人内の事業所と交流				職員の質の向上		強度行動障害研修 定期的な発達特性の理解のための研修	
主な行事等		地域で開催されるお祭り等への和太鼓演奏の参加 保護者向けの勉強会・情報交換会・療育参加/参観 季節ごとの行事の実施							